

第2章 第二次伊東市環境基本計画年次報告

1 令和4年度の環境指標の状況等

環境分野	指 標	平成23年度 (基準)	令和4年度 (実績)	指標の状況等	令和4年度 (目標)
1-1 大気環境	光化学オキシダントの注意報発令回数 ※1	0回	0回	気象条件に恵まれたこともあり、良好な大気環境が保たれました。	0回
	本市内の測定局における二酸化窒素の測定結果 ※2	0.02 ppm	0.011 ppm	環境基準を下回っており、良好な大気環境が保たれました。	0.02 ppm以下
1-2 水環境	伊東大川下流のBOD測定結果(75%値) ※3	1.5 mg/ℓ	0.8 mg/ℓ	渚橋附近の水質は国の河川における環境基準(B類型)の基準値以下を維持しています。	1.3 mg/ℓ以下
	下水道整備面積 (昭和33年からの累計)	565.5 ha	600.6 ha	伊東市公共下水道事業計画に基づき、伊東処理区及び荻・十足処理区の管きよ整備を行いました。	605.3 ha
	合併処理浄化槽補助事業による設置累計基数 (平成2年からの累計)	578基	807基	伊東市公共下水道事業計画区域内・外において、合併処理浄化槽の設置を推進しました。	836基
1-3 土壌環境	土壌汚染地域の指定件数	1件	0件	土壌汚染地域の指定はありませんでした。	0件
1-4 その他 生活環境	悪臭・騒音・振動の苦情件数	10件	4件	発生原因は機械騒音であり、違反行為に対して行政指導を実施しました。	5件以下
2-2 身近な 自然	都市計画公園一人当たりの面積	7.25㎡	8.19㎡	人口減少に伴い、1人当たりの公園面積が増加しました。54.0ha/65,927人(人口はR5.3.31現在の住民基本台帳による。)	8.5㎡
2-3 歴史的・ 文化的環境	歴史文化に触れた人数	12,611人	11,419人	3年ぶりに芸術祭を開催することができたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により参加者数は目標値に至りませんでした。	17,000人

環境分野	指 標	平成23年度 (基準)	令和4年度 (実績)	指標の状況等	令和4年度 (目標)
3-1 廃棄物	一人一日当たりのごみ排出量	1,300g	1,306g	社会経済活動の回復により、事業系ごみが増加しました。	1,240g
	一般廃棄物の総排出量に対するリサイクル率	19.6%	18.4%	資源化量、総排出量が共に微増したため、リサイクル率は前年と同程度となりました。	22.8%
	市補助制度の家庭用生ごみ処理機設置世帯数 (平成5年度からの累計)	1,542世帯	1,823世帯	29世帯36基に対して家庭用生ごみ処理容器等設置の補助を行いました。	2,399世帯
3-2 資源・エネルギー	太陽光発電システム設置件数	730世帯	1,988世帯 ※4	伊東市住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費支援事業(H29開始)により、市民の住宅58世帯へ新エネルギー及び省エネルギー機器の設置を支援しました。(太陽光発電システム19件、家庭用燃料電池システム0件、リチウムイオン蓄電池システム25件、家庭用エネルギー管理システム14件、計58件)	2,500世帯
3-3 地球環境	伊東市役所の温室効果ガス総排出量	16,457 t-CO ₂	13,691 t-CO ₂	新型コロナウイルスの影響で自粛していたイベント等を実施したため、観光施設の排出量増加となりましたが、電気使用量は昨年度と比べて削減しました。そのため、温室効果ガス総排出量は昨年と比べて29t-CO ₂ 減少しました。	13,738 t-CO ₂
4-1 環境学習	図書館における環境資料の蔵書数	435冊	602冊	環境関連資料を9冊登録しました。	600冊
	環境学習講座の参加人数	110人	605人 ※5	環境美化センター見学に389人、ふるさと教室に100人、アースキッズ事業に116人が参加しました。	680人

※1…光化学オキシダント注意報発令基準は、光化学オキシダント濃度の1時間値が0.12ppm以上で、気象条件からみて当該大気汚染の状態が継続し、被害が発生すると認められるとき。

※2…二酸化窒素の環境基準は、1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。(測定局：伊東市役所内)

静岡県HP、令和4年度大気汚染及び水質汚濁等の状況より抜粋

※3…伊東大川下流の国の環境基準は、河川B類型でBOD(生物化学的酸素要求量)3mg/ℓ以下である。静岡県HP、令和4年度大気汚染及び水質汚濁等の状況より抜粋

※4…経済産業省の固定価格買取制度の市町村別認定・導入量から令和4年度3月末現在の数値を掲載している。

※5…平成29年度の第二次環境基本計画見直しの際、環境美化センターの見学人数を指標に追加している。

2 施策の実施状況

〔評価概要〕

令和4年度における各課取組施策の目標達成状況

88.5%

上記達成状況は「目標達成」の123件です。

令和4年度においては、評価が「目標以下」となった取組は2件（1.4%）でした。また「その他」については14件（10.1%）で、取り組む必要がなかった又は評価の対象とならなかったもの等です。

〔評価集計表（単位：各課取組数）〕

基本目標① きれいな空気 おいしい水 心安らぐ 環境のまちづくり

環 境 分 野	目標以上	目標達成	目標以下	その他	計
1-1 大気環境		8			8
1-2 水環境		10			10
1-3 土壌環境		4			4
1-4 その他生活環境		11			11
小 計		33			33

基本目標② 恵まれた環境を守り育てる 自然豊かなまちづくり

環 境 分 野	目標以上	目標達成	目標以下	その他	計
2-1 自然環境		15		1	16
2-2 身近な自然		9		1	10
2-3 歴史的・文化的環境		6			6
小 計		30		2	32

基本目標③ 資源を大切にし 環境にやさしいまちづくり

環 境 分 野	目標以上	目標達成	目標以下	その他	計
3-1 廃棄物		14			14
3-2 資源・エネルギー		15		7	22
3-3 地球環境		6		1	7
小 計		35		8	43

基本目標④ みんなで学び よりよい豊かな環境のまちづくり

環 境 分 野	目標以上	目標達成	目標以下	その他	計
4-1 環境学習		12	1		13
4-2 環境保全活動・環境配慮		13	1	4	18
小 計		25	2	4	31

合 計

	目標以上	目標達成	目標以下	その他	計
合 計		123	2	14	139
取組総数に占める割合	0%	88.5%	1.4%	10.1%	100%

〔各施策の実施状況〕

1－1 大気環境

1-1-1 大気監視体制の整備・充実

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
県と連携し、必要に応じて観測地点・項目の追加などを検討します。	《実績》 光化学オキシダント注意報は発令されませんでした。 《評価》目標達成 【環境課】

1-1-2 自動車排ガス対策

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
アイドリングストップ運動など、環境に配慮した自動車の運転の普及啓発に努めます。	《実績》 アイドリングストップについて、6月の環境月間にチラシを配布し、11月のエコドライブ推進月間では、広報紙で呼びかけを行い、環境に対する市民の意識向上を図りました。 《評価》目標達成 【環境課】
公共交通機関や自転車の利用の普及啓発に努めます。	《実績》 12月の地球温暖化防止月間の際に広報紙において公共交通機関の利用の呼びかけを行うとともに、通勤時に公共交通機関等を利用するエコ通勤についてのリーフレットを環境課窓口に配架し、市民の公共交通機関の利用の普及に努めました。 《評価》目標達成 【環境課】
環境への負荷の少ない低公害車や無公害車の普及啓発に努めます。	《実績》 クリーンエネルギー自動車や水素ステーションについてのリーフレットを環境課窓口に配架し、低公害車や無公害車に関する情報の発信に努めました。 《評価》目標達成 【環境課】
必要以上のマイカー利用の抑制のため、バス・鉄道事業者、関係団体、市民などとともに、総合的な交通施策を検討します。	《実績》 伊東市地域公共交通計画に基づき持続可能な公共交通の維持、確保、改善のため、地域住民や交通事業者と協議を重ねるとともに、交通空白地域における新たな交通手段の実証運行を実施しました。 《評価》目標達成 【都市計画課】

公用車の低公害車や無公害車への更新を推進します。	《実績》 車両は 12 台が減少、5 台が増加し、5 台すべて低公害車を導入しました。 《評価》目標達成 【財政課】
--------------------------	--

1-1-3 工場・事業所対策

施策の方針	令和 4 年度の実績及び評価
工場・事業所に対して、大気汚染の防止に関する啓発を行います。また、県と連携し、大気汚染防止法や県条例に基づき、特定工場等に対して立入検査を実施するなど規制・監視を行い、工場・事業所からの環境負荷の低減を図ります。	《実績》 資料やリーフレットを環境課窓口配架し、情報提供を行うとともに、立入指導は 3 件実施しました。 《評価》目標達成 【環境課】
県の融資制度等を案内します。	《実績》 県からのリーフレット等を環境課窓口にて配架し、事業者に対し経営改善資金制度に関する情報提供を行いました。 《評価》目標達成 【環境課】

1-2 水環境

1-2-1 水環境の監視体制の整備・充実

施策の方針	令和 4 年度の実績及び評価
県と連携し、必要に応じて観測地点・項目の追加などを検討します。	《実績》 県から河川・海域等の水環境の測定結果等の情報を取得するとともに、地点・項目の追加の必要性を検討しました。 《評価》目標達成 【環境課】
必要に応じ、伊東大川支流、その他河川及び一碧湖の水質測定を実施していきます。	《実績》 伊東大川支流及びその他河川等 15 地点の水質測定を実施し、水質状況が概ね良好であることを確認するとともに、市ホームページに公表しました。 《評価》目標達成 【環境課】

1-2-2 生活排水対策

施策の方針	令和 4 年度の実績及び評価
公共下水道全体計画区域外では、合併処理浄化槽による整備を推進します。	《実績》 合併処理浄化槽補助事業により、合併処理浄化槽を 11 基設置しました。 《評価》目標達成 【下水道課】

公共下水道事業計画区域内の整備率向上を目指して、整備効率の高い川奈地区へ管路網の整備を推進します。	《実績》 川奈地区の管路約 233m の整備を実施しました。 《評価》目標達成 【下水道課】
川奈地区の地域汚水処理区域においては、水無田地区の公共下水道への統合を見据えて、老朽化対策を図り、管きょ・処理施設の安全で効率的な維持管理と安定した水質管理を目指します。	《実績》 川奈地区の地域汚水処理区域においては、老朽管対策として約 199m の管路の改築を実施し、水無田地区においては公共下水道への統合を控え、支障となる不明侵入水対策として誤接合調査を行い、一般家庭の雨水誤接合等の侵入箇所を特定することができました。また、処理施設については、適正な維持管理を行い、COD 値は、法定基準 20 mg/ℓ 以下の年平均 5.4 mg/ℓ と安定した水質管理ができました。 《評価》目標達成 【下水道課】
下水道の日（9 月 10 日）や小学生の施設見学等を通じ、下水道の意義、効用についての知識を高める PR 活動を行い、下水道に関する市民意識の高揚を図ります。	《実績》 下水道の日に合わせて市民ロビーでイラスト等による下水道事業の PR 活動を行うとともに、小学生 364 人に対して湯川終末処理場の施設見学を実施するなど、下水道に関する市民意識の高揚を図りました。 《評価》目標達成 【下水道課】
浄化槽法に定められた維持管理について浄化槽設置者に対して講習会等を通じて周知徹底を図ります。	《実績》 10 月の広報紙において、浄化槽の維持管理に係る啓発を行いました。また、講習会は新型コロナウイルスの影響で Youtube による動画掲載としました。 《評価》目標達成 【環境課】
工場・事業所や家庭からの排水等による水質汚濁防止対策に関する啓発を推進します。	《実績》 工場・事業所に対し、立入検査時に水質汚濁防止対策に関する指導を行いました。また、10 月の広報紙において、浄化槽の維持管理に係る啓発を行い、水質汚濁防止に関する周知に努めました。 《評価》目標達成 【環境課】

1-2-3 工場・事業所対策

施策の方針	令和 4 年度の実績及び評価
工場・事業所に対して、水質汚濁防止に関する啓発を行います。また、県と連携し、水質汚濁防止法や県条例に基づき、特定工場等に対し、立入検査を実施するなど規制・監視を行い、工場・事業所からの環境負荷の低減を図ります。	《実績》 県と連携し、水質汚濁防止に係る工場・事業所に対して 10 件の立入検査を行い、排出水の測定記録や施設の管理状況の確認を行いました。 《評価》目標達成 【環境課】

県の融資制度等を案内します。	《実績》 県からのリーフレット等を環境課窓口にて配架し、事業者に対し、省エネ対策の支援制度等説明会や経営改善資金制度に関する情報提供を行いました。 《評価》目標達成 【環境課】
----------------	--

1-3 土壌環境

1-3-1 土壌汚染調査・情報収集

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
県と連携し、土壌汚染の状況や汚染源となる物質の情報収集を行います。また、必要に応じて土壌の保全を図るための定点調査の実施を検討します。	《実績》 県と連携し、土壌汚染指定地域における指定解除に向けた取組や浄化対策等の技術的な助言・指導を行いました。 《評価》目標達成 【環境課】

1-3-2 工場・事業所対策

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
県と連携し、工場・事業所に対して、土壌汚染防止に関する啓発を行います。	《実績》 法令で定められた規模以上の土地の掘削等について、4件の指導を行い、土壌汚染防止に関して事業者の意識向上を図りました。 《評価》目標達成 【環境課】
県と連携し、農用地の土壌の汚染防止等に関する法律や土壌汚染対策法に基づき、規制・監視や浄化対策の指導を行い、工場・事業所からの環境負荷の低減を図ります。	《実績》 県と連携し、法令に基づく規制・監視や浄化対策の指導を行い、工場・事業所からの環境負荷の低減を図りました。 《評価》目標達成 【環境課】
農用地等が汚染源とならないよう、県や農協と連携し、農業者に対し化学肥料・農薬・除草剤などの適正使用の指導を推進します。	《実績》 農薬・除草剤の適正使用について、広報いとうにおいて呼びかけを行うとともに、ポスターの掲示により周知を図りました。 《評価》目標達成 【産業課】

1-4 その他生活環境

1-4-1 その他生活環境監視体制の整備・充実

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
県と連携し、必要に応じて観測地点や、新たな有害汚染物質など観測項目の追加を検討します。	《実績》 県から伊東大川渚橋付近の水質及び底質のダイオキシン類環境調査の測定結果のほか、技術的な助言等の情報収集を行うとともに、観測地点・項目の追加の必要について検討しました。また、ダイオキシン類の測定結果は、安定的に良好な状態であることが確認できました。 《評価》目標達成 【環境課】

1-4-2 その他生活環境の保全対策

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
たい肥等による土づくりと化学肥料・化学農薬の使用の低減を一体的に行う農業生産方式の導入を推進します。	《実績》 農薬を使用しない栽培方法である自然農法に取り組む団体と連携し、自然農法の普及講座事業を実施しました。 《評価》目標達成 【産業課】
廃棄物不正焼却防止の啓発を推進し、ダイオキシン類の発生防止に努めます。	《実績》 30件の廃棄物の不正焼却に対し、指導を行いました。また、チラシ等を活用して指導を行い、市民・事業者の意識向上を図りました。 《評価》目標達成 【環境課】
日常生活に伴う騒音や悪臭を防止するための自主的な対策や配慮を促します。	《実績》 市に寄せられた4件の騒音の相談に対して、原因者に改善するよう助言や指導を継続的に行い、生活環境の保全を図りました。 《評価》目標達成 【環境課】
日照障害、電波障害、光害等に関する情報を収集し、対策について検討します。	《実績》 日照障害等、典型七公害（水質汚濁、大気汚染、土壌汚染、悪臭、騒音、振動、地盤沈下）以外の公害情報を収集しました。また、日照障害等の苦情及び相談はありませんでした。 《評価》目標達成 【環境課】

ダイオキシン類の発生抑制に対応した廃棄物処理を推進します。	《実績》 廃棄物処理施設の適正な運転・管理が行われ、ダイオキシン類の発生は、法令に定める基準値以下に抑制できました。 《評価》目標達成 【環境課】
県と連携し、悪臭、騒音、振動の発生源抑止に関する指導をします。	《実績》 県から騒音等についての技術的な助言や対策について情報を取得し、市に寄せられた4件の事業所（工場）から発生する騒音の相談に対して、事業者には改善するよう指導を行いました。 《評価》目標達成 【環境課】
保健所と連携し、愛護動物飼養者の不適切な飼養に対する指導や、適正飼養に関する啓発に努めます。	《実績》 保健所と連携し、愛護動物飼養者に対して指導を行ったほか、「わんわん教室」（犬の飼い方としつけ教室）を実施し、愛護動物飼養者の適正飼養に関する意識向上を図りました。 《評価》目標達成 【環境課】
犬の登録制度の適正化を図るとともに、狂犬病予防注射接種率の向上に努めます。	《実績》 犬の登録及び狂犬病予防注射に係る現況調査を行い、犬の登録制度の適正化及び狂犬病予防注射の接種率向上を図りました。また、広報紙を活用し、犬の登録制度及び狂犬病予防注射についての周知を図りました。 《評価》目標達成 【環境課】

1-4-3 工場・事業所対策

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
工場・事業所に対して、悪臭、騒音、振動、有害化学物質による環境汚染の発生防止に関する啓発を行います。	《実績》 騒音・振動等の特定施設設置届出書等を提出した工場・事業所等2件に対し、騒音等の発生防止方法について情報提供を行いました。また、県と連携し、化学物質の発生源となる事業所に対し、PRTR（化学物質排出移動量届出制度）の案内により、有害化学物質等による環境汚染の発生防止に関する事業者の意識向上を図りました。 《評価》目標達成 【環境課】
悪臭防止法、騒音規制法、振動規制法や県条例に基づき、規制・監視を行い、工場・事業所からの負荷の低減を図ります。	《実績》 工場・事業所等2件に対し、騒音等の特定施設設置等の届出の審査業務及びそれに伴う指導・助言を行いました。 《評価》目標達成 【環境課】

2-1 自然環境

2-1-1 良好な自然環境の保全

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
国立公園内の自然の保護を目的とした伊豆半島ジオパークの活動及び1種特別地域の国有化やナショナルトラスト運動を支援します。	《実績》 環境省による第1種特別地域の国有化やナショナルトラスト運動は実施されませんでした。 《評価》その他 【建築住宅課】
国立公園特別地域内の許可申請にて建築物、工作物、土地の形状変更、屋外広告物等を規制した自然公園法の遵守を促します。また、自然公園法の趣旨に基づき、自然環境保全意識の普及啓発に努めます。	《実績》 国や県と連携し、国立公園区域内の自然環境保全意識の向上啓発や違反物件に対する対応に努め、自然公園法を遵守するよう促しました。 《評価》目標達成 【建築住宅課】
市域の自然環境の実態の把握を目的とした、自然環境調査の実施を検討します。	《実績》 県と連携して行った地下水等の採水調査、他団体と協力して行った水生生物調査及び県が実施した大気、水質等の生活環境調査の結果により、市域の自然環境が良好であることを確認しました。 《評価》目標達成 【環境課】
市の巨木や名木の保護に努めます。	《実績》 巨木・名木の見回りを行い、保護に努めました。八幡野の陶磁・ガラス美術館敷地内ヤマモモについて、指定解除の手続きを行いました。 《評価》目標達成 【産業課】
	《実績》 調査やパトロールを行い、天然記念物の保護に努めました。 《評価》目標達成 【生涯学習課】
親しみやすい自然環境が残されている海浜、小川などの保全を図ります。	《実績》 オレンジビーチというか浜公園では、日常的な清掃に加え、海水浴シーズンや台風など荒天の後は清掃回数を増やすなど、常に清潔できれいな海浜を保つよう努めました。また、海岸周辺花壇の植栽や草刈りを実施し、景観の向上に努めました。 《評価》目標達成 【観光課】

親しみやすい自然環境が残されている海浜、小川などの保全を図ります。	《実績》 対島川において、水性や通気性に優れ、植生機能を有する多自然型護岸（ふとん籠工法）を整備しました。 《評価》目標達成 【建設課】
松くい虫による被害や枯れ木現象の実態調査を通し、被害の防除に努めます。	《実績》 城ヶ崎地区において松くい虫の被害の実態を把握し、薬剤の樹幹注入による防除を実施しました。 《評価》目標達成 【産業課】
森林ボランティアとの協働により森づくりを推進します。	《実績》 森林ボランティアが開催するイベントの周知を図りました。 《評価》目標達成 【産業課】

2-1-2 自然の恵みの活用

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
伊豆半島ジオパークの理念に基づき、大地が育んだ貴重な資産を保全しつつ、持続可能な形で豊かな自然を生かした地域振興を推進します。	《実績》 伊豆半島ジオパークの解説や市内ジオサイト等を案内するための拠点施設であるジオテラス伊東の運営を支援し、伊豆半島ジオパークならではの魅力を伝えるための効果的な情報発信や啓発活動を推進しました。 《評価》目標達成 【観光課】
城ヶ崎海岸、さくらの里、一碧湖、松川湖などの自然や花木を生かした観光スポットや、自然や歴史を生かしたウォーキングコースの整備を推進し、自然環境の保全と活用を図ります。	《実績》 城ヶ崎ピクニカルコースの舗装の改修を行うとともに、城ヶ崎海岸や一碧湖周辺の立ち枯れた雑木などの伐採や倒木の処理を行い、ウォーキングコースの安全性や景観の向上を図りました。 《評価》目標達成 【観光課】
伊東市観光基本計画に基づき、海、山、温泉をはじめとする本市の自然環境を活かしたエコツーリズム等を展開し「健康保養都市」として個性ある観光地づくりを推進します。	《実績》 観光ホームページにて、景勝地などの観光資源を紹介するための特集記事及びモデルコースを発信するとともに、紹介する体験施設の拡充を図りました。 《評価》目標達成 【観光課】

2-1-3 秩序ある土地利用の推進

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
国立公園特別地域の開発については、伊東市土地利用指導要綱や伊東市景観条例を適切に運用することにより、自然環境と調和した開発を誘導します。	《実績》 国立公園特別地域内の開発における緑化計画については、指導要綱などに基づき自然環境と調和するよう指導を行いました。 《評価》目標達成 【都市計画課】
農業振興地域の見直し等を検討するとともに、緑地の保全と緑化を推進します。	《実績》 適正な農業振興地域の保全を図りました。 《評価》目標達成 【産業課】
用途地域の適正な規制・誘導により建物用途の混在を防止し、都市環境の保全や利便増進を図っていきます。	《実績》 用途地域の規制・誘導を行い、市街地における環境の保全などを図ったほか、立地適正化計画を策定し公表しました。 《評価》目標達成 【都市計画課】
農地の耕作放棄地の実態調査を行い、適正利用を推進します。	《実績》 増加傾向である耕作放棄地については、再生可能な農地を担い手へあつせんしたほか、再生不能な農地は非農地化を通知するなど適正な利用を促しました。 《評価》目標達成 【産業課】

2-2 身近な自然

2-2-1 街中の緑の創出

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
来園者が利用しやすい都市公園となるよう公園の再整備を推進します。	《実績》 小室山公園テニスコート法面の安全対策工事や園内の枯木の伐採を行うなど、来園者が安全・安心に都市公園を利用できるよう環境整備を行いました。 《評価》目標達成 【観光課】
	《実績》 子育てしやすい環境を作るため、本郷公園に遊具（雲梯・2連ブランコ）を設置しました。 《評価》目標達成 【都市計画課】
活用できる空き地等を利用し、緑化を推進します。	《実績》 グリーンバンク制度の周知を図り、地域の空き地等を利用し、緑化活動を推進しました。 《評価》目標達成 【観光課】

緑化のための市民運動等を支援し、うるおいあるまちづくりを推進します。	《実績》 グリーンバンク制度を活用し、夏期における緑のカーテンの普及や、年2回の花の種子、球根、苗等の配付により地域の緑化活動を推進しました。 《評価》目標達成 【観光課】
	《実績》 公共施設の里親制度（アダプトシステム）登録団体を支援し、市内の緑化を進めました。 《評価》目標達成 【建設課】

2-2-2 都市の緑地景観の形成

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
伊東市景観条例に基づく制度を活用して、地域の個性豊かな景観を守り育てます。	《実績》 届出制対象行為に対し、条例の基準に適合するよう適切に指導を行い、良好な景観の形成及び保全を図りました。 《評価》目標達成 【都市計画課】
市民の自主的なまちづくりや、個性を生かした景観形成を推進します。	《実績》 まちづくり団体の会議、イベントに参加し、地域が行う良好な景観づくりを支援しました。 《評価》目標達成 【都市計画課】

2-2-3 親しみやすい水辺の創出

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
人工河床を自然河床とし、親水護岸・親水公園の整備を推進します。	《実績》 取組みが無かったため評価の対象がありませんでした。 《評価》その他 【建設課】
憩いの場として、海辺に親しめるよう海岸環境の保全に努めます。	《実績》 伊東港連絡協議会による海岸清掃を実施しました。 《評価》目標達成 【建設課】
「川のある湯のまち」の演出とともに、中心市街地を流れる伊東大川における水辺の創出を図ります。	《実績》 松川周辺地区まちづくり協議会と協働し伊東大川の清掃活動を実施するなど、温泉街の清流風景の創出を図りました。 《評価》目標達成 【都市計画課】

2-3 歴史的・文化的環境

2-3-1 文化財の保全

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
市の歴史的環境や文化財の調査を行い、出版物やホームページなどを利用した結果の公開により、文化財の保護に努めます。	《実績》 文化財管理センターにおける常設展及び企画展を充実するとともに、ホームページでの紹介により、文化財保護の周知を図りました。 《評価》目標達成 【生涯学習課】
講演会や講座により郷土の歴史を学び、郷土を愛する心を育み、恵まれた自然環境や先人達の築いた文化を守り、次世代へ伝えていきます。	《実績》 伊東自然歴史案内人会講座、いでゆ大学歴史講座、市史講座を開催し、郷土の歴史を学びました。 《評価》目標達成 【生涯学習課】
市民の協力や関係機関との連携により、文化財保全活動を支援・育成します。	《実績》 指定文化財の管理者に対し、文化財保護に関する費用の助成を実施しました。 《評価》目標達成 【生涯学習課】

2-3-2 歴史的・文化的資源の活用

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
伊東らしい観光地づくりに、地域の歴史・郷土芸能や郷土にゆかりのある文学作品、東海館や木下奎太郎記念館などの文化財を活用していきます。	《実績》 「和」の雰囲気や歴史・文化を活用し、和文化を通じたおもてなしを創出するため、東海館でのイベントの開催や本市で活動する地域芸能を活用した体験型観光施策を実施しました。 《評価》目標達成 【観光課】
	《実績》 木下奎太郎記念館にて企画展を行い、認知度の向上に努めました。また、木下奎太郎関連資料の収集を行い、企画展等で活用しました。 《評価》目標達成 【生涯学習課】
伊東市景観条例に基づく制度を活用して、景観形成の上で重要となる施設等や地区を指定し、個性的で魅力あふれる景観を守り、育て、つくります。	《実績》 重要景観形成地区の候補地である「東海館（松川）周辺地区」を重要景観形成地区の指定に向けた作業を進めました。 《評価》目標達成 【都市計画課】

3-1 廃棄物

3-1-1 ごみの減量・再資源化の推進

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
一般廃棄物処理基本計画に基づき、新たな分別品目の追加や分別方法の周知徹底など、啓発、教育、指導活動等を実施し、ごみの排出抑制及び資源化を推進します。	《実績》 「伊東市ごみ・資源収集カレンダー」を保存用の分別ガイドブックと資源収集カレンダーに分け、ごみの分別意識の向上によるごみの排出抑制と再資源化を図りました。 《評価》目標達成 【環境課】
	《実績》 総合的な学習の時間のほか、各教科において環境教育を実施し、ごみ排出の抑制や分別など環境への関心を持てるような授業を実施しました。 《評価》目標達成 【教育指導課】
コンポスト、電動式生ごみ処理機の設置に対する補助制度及び資源ごみ集団回収に対する報奨制度等を継続し、ごみの排出抑制・再資源化を図ります。	《実績》 29世帯が家庭用生ごみ処理容器等設置費補助金制度を活用しました。また、87団体が資源ごみ集団回収奨励事業を活用し、ごみの排出抑制・再資源化に貢献しました。 《評価》目標達成 【環境課】
多量の一般廃棄物を排出する事業者に対しては、ごみの発生・排出抑制の指導を行うとともに、排出量に応じた料金の徴収を実施します。	《実績》 多量の一般廃棄物を排出する事業者に対し、ごみの減量化・再資源化の指導を行うとともに、排出量に応じた事業系一般廃棄物処理手数料を徴収しました。 《評価》目標達成 【環境課】
剪定枝のチップ化などを検討し、ごみの減量化・再資源化に努めます。	《実績》 市民団体等に樹木粉碎機の貸出しを実施し、剪定枝等の有効活用を図り、ごみの減量化や再資源化の推進を図りました。 《評価》目標達成 【観光課】
	《実績》 森林整備の際に発生した、間伐材や剪定枝をチップ化し、遊歩道などに敷いて、ごみの軽量化、再資源化を図りました。 《評価》目標達成 【産業課】

剪定枝のチップ化などを検討し、ごみの減量化・再資源化に努めます。	《実績》 道路及び河川等の維持管理において、支障木等の伐採で発生した剪定枝等をチップ化し、ごみの軽量化・再資源化を図りました。 《評価》目標達成 【建設課】
----------------------------------	--

3-1-2 ごみの適正処理の推進

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの適正処理を推進します。	《実績》 環境美化センターの焼却灰 3,036t を熔融固化し、再資源化することにより、最終処分量を減らすことができました。 《評価》目標達成 【環境課】
	《実績》 給食センターの生ごみ処理機1台が不具合のため使用できない状態でしたが、厨芥量及び残食量の計測結果をこまめに検証し、ごみ排出量の削減に努めました。 《評価》目標達成 【教育総務課】
産業廃棄物については、県と連携して、再資源化が行われるよう指導します。	《実績》 県と連携し、産業廃棄物を排出する事業者に対し、再資源化についての指導を行いました。 《評価》目標達成 【環境課】

3-1-3 ごみ不法投棄等の防止

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
不法投棄防止の啓発活動を行い、市民、観光客の美化意識の向上を図ります。	《実績》 広報紙や看板などを活用し不法投棄防止の啓発を行いました。また、市内に散乱したごみを回収することにより、市民だけでなく観光客の環境美化意識の向上を図りました。 《評価》目標達成 【環境課】
ポイ捨て防止パトロールの強化や、市民、警察等の関係機関と連携し、不法投棄の未然防止に取り組めます。	《実績》 不法投棄防止パトロールを行うとともに、市民からの要望により不法投棄防止看板を設置するなど、不法投棄の未然防止を図りました。また、家電製品協会の「不法投棄未然防止事業協力」を活用し、中部横断道路に不法投棄防止柵を設置しました。 《評価》目標達成 【環境課】

地域住民やボランティア団体が行う美化活動に協力します。	《実績》 地域の一斉清掃やボランティア活動において、集めたごみの回収などの協力を行い、美化活動を推進しました。 《評価》目標達成 【環境課】
土地所有者や管理者に対して、自主的に不法投棄防止対策を行うよう啓発に努め、また、不法投棄防止のための立看板の提供などの支援をします。	《実績》 柵の設置等、不法投棄されない環境作りについて助言するとともに、要望に応じて不法投棄防止看板を設置する等の支援を行いました。 《評価》目標達成 【環境課】

3-2 資源・エネルギー

3-2-1 エネルギーの有効利用

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
太陽光発電等の再生可能エネルギーの普及啓発に努めます。	《実績》 平成29年度から「伊東市住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費支援事業」を開始し、再生可能エネルギーの拡充に努めました。この事業により、市民の住宅36世帯（58件）へ新エネルギー及び省エネルギー機器の設置を支援しました。 《評価》目標達成 【環境課】
省エネルギー型の生活や事業活動の工夫について、意識の啓発に努めます。	《実績》 6月の環境月間や12月の地球温暖化防止月間に合わせて、広報紙で啓発を行うとともに、環境課窓口にて資源エネルギー庁発行の省エネ性能カタログを配架し、市民・事業者へ情報提供を実施し、意識向上を図りました。 《評価》目標達成 【環境課】
市の公共施設の整備等に当たっては、省エネルギー型の設備・機器や再生可能エネルギー発電などの優先的な導入に努めます。	《実績》 健康福祉センターは、令和3年度と比較し電気使用量が7.5%削減されました。主な要因は、令和3年度と同様に新型コロナウイルスワクチン接種会場という特殊な使用状況下で、会場使用期間等の減少に伴う利用者数の半減（83,107人→38,745人）によるものです。 R3：181,521kWh R4：167,868kWh 《評価》その他 【高齢者福祉課】

市の公共施設の整備等に当たっては、省エネルギー型の設備・機器や再生可能エネルギー発電などの優先的な導入に努めます。	《実績》 東海館喫茶室のエアコンの取替えを行い、消費電力を削減し、省エネルギー化を図りました。 《評価》目標達成 【観光課】
	《実績》 老朽化した玖須美中継ポンプ場汚水ポンプ2台をダウンサイジングしたポンプ2台に更新し、省エネルギーに努めました。 《評価》目標達成 【下水道課】
	《実績》 廃棄物処理機器の定期的な補修を行い、施設のエネルギー削減を実施しました。 《評価》目標達成 【環境課】
	《実績》 スカイポート亀石の解体に伴い、駿東伊豆消防本部が使用する建物以外の財政課所有施設がありません。 《評価》その他 【財政課】
	《実績》 富士見保育園給食室照明や宇佐美保育園外灯・防犯灯をLED化するとともに宇佐美幼稚園遊戯室の照明を省エネルギー型照明に交換しました。 《評価》目標達成 【幼児教育課】
	《実績》 旧機器に空調機器2基の更新、食堂売店の冷蔵ショーケースの更新を実施しました。 《評価》目標達成 【公営競技事務所】
	《実績》 空調設備機器改修工事に際し、省電力型の機器を使用しました。 《評価》目標達成 【庶務課】
	《実績》 省エネルギーを考慮すべき整備について、実績はありませんでした。 《評価》その他 【市民課】
	《実績》 施設内の照明器具をLED化しました。 《評価》目標達成 【水道課】

市の公共施設の整備等に当たっては、省エネルギー型の設備・機器や再生可能エネルギー発電などの優先的な導入に努めます。	《実績》 照明器具を消費電力の少ないLED化しました。 《評価》目標達成 【教育総務課】
	《実績》 八幡野コミュニティセンターの照明の一部をLED化しました。 《評価》目標達成 【生涯学習課】
	《実績》 子育てサロン・さくら園は整備等の実績がありませんでした。 《評価》その他 【子育て支援課】
	《実績》 整備等の実績はありませんでした。 《評価》その他 【産業課】
	《実績》 整備等の実績はありませんでした。 《評価》その他 【健康推進課】
エネルギー利用効率の高い輸送交通手段やコージェネレーション、再生可能エネルギーの活用に関する普及啓発に努めます。	《実績》 6月、12月の広報紙において、市民に公共交通機関の利用を呼び掛けるとともに、コージェネレーション等についての国及び県の補助金制度に関する情報提供を行い、再生可能エネルギーの普及啓発に努めました。 《評価》目標達成 【環境課】

3-2-2 水資源の保全と有効利用

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
有害物質等により発生する水問題に対しては、的確な情報収集や監視体制のもとに水質管理を徹底します。	《実績》 水質検査計画に基づく原水及び浄水の検査を実施し、その結果を市ホームページで公表しました。 《評価》目標達成 【水道課】
伊東市水道水源保護条例の適正な運用を図り、その他の水源についても水質の保護に努めます。	《実績》 条例に基づき、審議案件発生時には速やかに審議会に諮れるような体制を整えましたが、審議案件はありませんでした。 《評価》その他 【水道課】
限りある水資源の大切さを呼びかけ、節水意識の高揚を図ります。	《実績》 冬季の異常渇水により水不足となった地域に対して、個別訪問等により節水を呼び掛けました。 《評価》目標達成 【水道課】

水源の涵養となる森林や表土の保全に努めます。	《実績》 森林所有者による整備が困難なために荒廃している森林を、森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業等の活用により、森林環境整備を行いました。 《評価》目標達成 【産業課】
------------------------	---

3-3 地球環境

3-3-1 地球温暖化防止

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
地球温暖化の原因と考えられている二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガスなど温室効果ガスの削減に向けての情報提供と啓発に努めます。	《実績》 小学校にて地球温暖化防止に関するイベント「アースキッズ事業」を実施し、温室効果ガス削減などの啓発に努めました。 《評価》目標達成 【環境課】
公共交通機関の利用、低公害車の導入、エコドライブ等の普及啓発に努めます。	《実績》 排気ガス削減車両の導入に努め、車両台数の削減に努めました。 《評価》目標達成 【財政課】
	《実績》 消防団車両の購入実績はありませんでした。 《評価》その他 【危機対策課】
二酸化炭素吸収源としての森林の保全を図るため、間伐や植栽を推進します。	《実績》 森林所有者の整備が行き届いてない地区で緑地の倒木処理等の整備を行い、森林の保全を図りました。 《評価》目標達成 【産業課】

3-3-2 その他地球環境問題対策

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
オゾン層破壊の原因物質であるフロン類の放出を抑えるため、不要となったフロン類の回収やノンフロン製品の選択などのオゾン層保護・フロン対策など、地球環境問題に関する情報提供と啓発に努めます。	《実績》 9月の広報紙において、フロンガス排出低減についての啓発を行うとともに、来庁した事業者等に対し、フロン排出抑制法に関する情報提供を行いました。 《評価》目標達成 【環境課】

酸性雨対策の一環として、酸性雨のモニタリング調査の実施を検討します。	《実績》 大気環境の測定結果について県から情報を取得し、安定的に良好な状態であることが確認できました。 《評価》目標達成 【環境課】
公共事業における熱帯林材を用いた資材や備品の使用削減に努め、森林保護に努めます。	《実績》 引き続き、公共事業における熱帯林材を用いた型枠の使用削減について特記仕様書に記載し、事業者の環境に対する意識向上を図りました。 《評価》目標達成 【建設課】

4-1 環境学習

4-1-1 環境情報の整備と提供

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
小中学校や高等教育機関、関係行政機関等との連携により、環境学習を推進します。	《実績》 環境に関わる内容を各授業内で実施し、実績等については、各校に情報提供しました。 《評価》目標達成 【教育指導課】
教育関連機関と連携し、環境学習の情報提供に努めます。	《実績》 県から取得した環境教育に関する教材や資料等を教育委員会に提供するなど、環境情報の共有を図りました。 《評価》目標達成 【環境課】
	《実績》 環境学習を取り入れた講座を実施し、教育関連機関へ情報提供しました。 《評価》目標達成 【生涯学習課】
市民や事業者が持っている環境学習に役立つ情報を収集・整理し、提供します。	《実績》 環境教育ネットワーク推進会議や環境学習コーディネーター等から情報・資料を収集し、環境学習に役立つ情報をアースキッズ事業等のイベント開催時に市民へ提供しました。 《評価》目標達成 【環境課】
図書館において環境資料の特集を組むなど、市民への環境情報の提供に努めます。	《実績》 7、8月の2か月、環境特集を組み、環境関連資料を展示することで、市民へ環境情報を提供しました。 《評価》目標達成 【生涯学習課】

4-1-2 環境学習の場や機会の提供

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
大川浄水場・奥野ダム・環境美化センター・終末処理場等への施設見学を継続します。	《実績》 市内の小学校4年生が環境美化センター等、環境関連施設を見学する環境学習を実施しました。 《評価》目標達成 【教育指導課】
環境学習リーダー派遣事業を活用するなど、自然の中の体験学習を継続します。	《実績》 環境カウンセラーや外部講師を招き体験学習を実施しました。また、アースキッズチャレンジ事業に、東小学校、宇佐美小学校、富戸小学校が参加しました。 《評価》目標達成 【教育指導課】

環境月間行事や各種イベントを通じて、市民の環境に対する関心を喚起します。	《実績》 6月の環境月間でパネル展を実施し、ごみの分別、地球環境、省エネに関する周知啓発に努めました。 《評価》目標達成 【環境課】
消費生活特別講座等において環境学習の機会の提供に努めます。	《実績》 環境学習の機会となる活動（エシカル消費パンフレットの配布等）は実施しませんでした。 《評価》目標以下 【市民課】
生涯学習講座や小学生ふるさと教室などを通して、環境学習の機会や情報を提供します。	《実績》 小学生ふるさと教室に環境学習を取り入れ、学ぶ機会を提供しました。 《評価》目標達成 【生涯学習課】

4-1-3 人材の活用

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
環境の様々な分野で活動している個人（環境カウンセラー等）や団体との交流や連携の機会を増やします。	《実績》 静岡県地球温暖化防止活動推進員や環境カウンセラー等の専門家と連携、協力し、アースキッズ事業を実施しました。 《評価》目標達成 【環境課】
	《実績》 富戸漁港内で実施した磯遊び体験事業において漁業者を講師とし、漁業をはじめ海の環境・ルール等を説明する座学を取り入れるなど専門家との連携を図りました。 《評価》目標達成 【産業課】
	《実績》 環境分野で活動されている方や団体を講師とした環境講座を開催し、交流を図りました。 《評価》目標達成 【生涯学習課】

4-2 環境保全活動・環境配慮

4-2-1 環境保全活動の推進

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
消費生活特別講座等において、環境保全活動のための情報を提供します。	《実績》 消費生活特別講座の際に環境啓発物品を配布し、環境保全活動の一例として周知を図りました。 《評価》目標達成 【市民課】
町内会やグループ、ボランティア、NPO、事業者等が行う環境保全活動を把握し、その支援に努めます。	《実績》 各行政区や町内会、ボランティア等の地域清掃美化活動を把握し、収集運搬の協力や物品の支給等、各種支援に努めました。 《評価》目標達成 【環境課】
	《実績》 城ヶ崎地区の松の保全活動を協働していたボランティアグループが解散し、他の取組はありませんでした。 《評価》目標以下 【産業課】
環境保全活動を実践する主体間の交流の場を設け、環境に関する情報交換の場を提供します。	《実績》 取組みがなかったため評価の対象がありませんでした。 《評価》その他 【建設課】
環境保全活動の実践に当たっては、市の施設や資材の提供に努めます。	《実績》 他工事と情報交換を行い、建設発生土の再利用を図りました。 《評価》目標達成 【建設課】
海・山などを自然とふれあえる体験の場として活用し、環境保全活動への参加意識の向上を図ります。	《実績》 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、水生生物調査を中止としました。 《評価》その他 【環境課】
	《実績》 実際に自然とふれあい、今残されている自然の大切さを学ぶことにより環境保全活動への意識の向上を図りました。 《評価》目標達成 【生涯学習課】

4-2-2 環境配慮行動の普及

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
消費生活特別講座等において、環境にやさしい暮らしの情報を提供します。	《実績》 消費生活特別講座の際に環境啓発物品を配布し、日常生活における環境への配慮について啓発しました。 《評価》目標達成 【市民課】
城ヶ崎海岸などの観光地や観光施設における環境美化を啓発する看板の設置など、観光客の環境配慮意識の向上を図ります。	《実績》 城ヶ崎海岸や松川湖では、ゴミ捨て禁止やゴミを持ち帰るよう呼び掛ける啓発看板を設置し、環境配慮意識の向上を図りました。 《評価》目標達成 【観光課】
広報などによる環境にやさしい暮らしの情報提供に努めます。	《実績》 6月、7月、9月、11月、12月の広報紙において、節電、ごみの減量、オゾン層保護、エコドライブ等の呼びかけを行うとともに、省エネ等に関するチラシ等を活用し、市民に環境負荷を抑える暮らしの情報を提供しました。 《評価》目標達成 【環境課】
マイカー通勤者の協力を得てノーカーデーの普及啓発に努めます。	《実績》 ノーカーデーの実施は公共交通機関の利用が増えるため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から普及啓発は行いませんでした。 《評価》その他 【職員課】
	《実績》 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からノーカーデーの啓発は実施しませんでした。 《評価》その他 【環境課】

4-2-3 行政の環境配慮率先行動の推進

施策の方針	令和4年度の実績及び評価
各種事業施工に際しては、自然型工法などによる環境整備を推進します。	《実績》 水辺に生息する植物に配慮して、通水性や通気性に優れ、植生機能を有するふとん籠工法を採用しました。 《評価》目標達成 【建設課】

伊東市役所地球温暖化対策実行計画に基づき、市自らが率先して温室効果ガスの削減や省エネルギー行動に努めます。	《実績》 市職員一人一人が省エネルギー行動を意識し、配慮したことにより、市有施設の温室効果ガス総排出量について、実行計画の基準年度である平成 25 年度と比較し、16.8%削減できました。 《評価》目標達成 【環境課】
	《実績》 排出ガス対策型の建設機械等を使用するなど、事業者の環境に対する意識向上が図られました。 《評価》目標達成 【建設課】
地球温暖化防止策として、緑の大切さを啓発することや、緑の募金運動を通じて、緑化を推進します。	《実績》 県緑化推進協会の緑の募金運動に参加し、小中学校及び高等学校と連携し、学校施設内の緑化活動を推進しました。 《評価》目標達成 【産業課】
省エネルギー及び自然を活用する等の再生可能エネルギーの導入に努めます。	《実績》 多くの市有施設の照明器具を LED 化しました。また、新規施設の整備、既存施設の修繕を行う場合、省エネルギー型の設備や機器を選択し、省エネルギー化を図りました。 《評価》目標達成 【環境課】
市が率先して環境物品等の調達を推進します。(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律)	《実績》 「伊東市役所温暖化対策実行計画」に基づき環境にやさしい物品の購入に配慮し、環境配慮型トナーカートリッジの単価契約を行う等、再生品の購入を推進しました。 《評価》目標達成 【庶務課】